

春が来たと思ったらあっという間に汗ばむ日もあり、
寒暖差が激しくて体調管理が難しいですね。
花粉や黄砂の飛散もあり、春なのにちょっと憂うつになりますね。

ぶんぶん
コラム

飲んだり食べたりする能力は学んで獲得するもの!

偏食や少食の子どもたちの割合が増えていることが、いよいよ小児科医の間でも大きな問題として取り上げられるようになってきました。小児の摂食外来を古くから行っている大学病院でも、特別に病的な要因がないにも関わらず、飲んだり食べたりすることが困難なお子さんが受診する割合が増えていることが以前から報告されています。

偏食や少食の問題を気軽に相談できる場を増やすために活動されておられる大山牧子先生は、「飲んだり食べたりする能力は2歳までに学んで獲得するものです!」ということ強調されています。

子どもの食に関する問題は、困ることが増えてくる2歳を過ぎてから相談される方が多いのが現状です。

これまで以上に小児科開業医としてお子さんの食べることに関する悩みに対して身近に相談できる場として機能していけるようにと考えています。お子さんの食べることにすることは、気になったときにどうぞお気軽にご相談ください。食に関するご相談はお時間を要することが多いため、ありがたき小児科分院ぶんぶんのご予約をお勧めします。

こども
Q&A

発熱した時に、急いで受診した方が良いのはどういう時ですか?

新年度を迎え新しく入園・入学したお子さんは、これから風邪をひく機会が増えてくるかもしれません。今まであまり発熱しなかったお子さんがしんどそうにしていると、すごく心配になり急いで受診する必要があるか迷う事もあると思います。

診察させていただく立場からは、発熱してすぐに受診していただいても、特徴的な診察所見も少なく、インフルエンザやcovid19などの迅速検査の感度も落ちるため、初回の受診時に診断や先の見通しを明確にお伝えすることは難しい事が多くなります。結局、症状が続くなら再診してください、としかお伝え出来なくなってしまいます。発熱していても、水分摂取がそれなりにできていれば、発熱してすぐに急いで受診する必要は少ないと思います。

急いで受診した方がと思われる場合は、

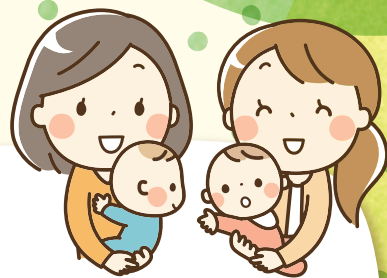
- 1) 嘔吐を繰り返している、
- 2) 顔色が悪く、活気に乏しい、
- 3) 水分摂取を拒む・飲むことができない
- 4) 意識状態が悪いなどの場合です。

こうした場合は、診断ではなく治療が必要な場合があるので、早期の受診を検討してください。

最近は救急外来だけでなく、往診する救急医療機関もあるようですが、受診がかえって負担になる事もありますので、慌てずに行動しましょう。



2024年 4月5月合併号



おしらせ

五種混合ワクチンの接種が始まりました

4月より初回ワクチンの方から、従来の4種混合ワクチンにヒブワクチンが加わった5種混合ワクチンの接種が始まりました。これまで4種混合ワクチンとヒブワクチンを接種されている方は、引き続き同じワクチンを使用いたします。ご不明な点がございましたらお尋ねください。

麻疹風疹ワクチンの不足について

国内で麻疹患者の発生が続いている事から、自費での接種希望のお問い合わせを多数いただいておりますが、現在麻疹風疹ワクチンは製造会社の都合により、供給の余裕がない状態です。当院では定期接種の方を優先するため、現在自費での接種はお断りさせていただいております。ご理解とご協力をお願いいたします。

正規の接種期間に接種が済んでいない方は、個別に対応いたしますのでご連絡ください。

5月 ありたき小児科分院 ぶんぶんイベントカレンダー

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10 10:00～ 赤ちゃんトリセツ™ (ベビーハンドリング) ～養育者向き教室～ ～専門職向き教室～	11	12
13 10:00～ ごろごろ クラス 赤ちゃんのふれあい リズム遊び	14	15 10:30～ おんぶで暮らす	16	17	18	19
20 10:00～ 歩く前に やっておきたい こと編 手作りおもちゃ で遊ぼう!	21	22 10:00～ よちよち クラス 赤ちゃんのふれあい リズム遊び	23	24	25	26
27	28	29 うつ伏せの 運動遊び編 10:00～ 手作りおもちゃ で遊ぼう!	30	31		

ありたき小児科分院
ぶんぶんイベント
お申し込みについて

イベントご予約はこちら
<https://coubic.com/bunbun88>

スマホは
こちらから

